

# セメスター留学便り

## 12月号

天津での3か月はあっという間に過ぎ、いよいよこの12月が最後の一か月となりました。冷え込みも11月に比べるとぐっと増し、南開大学内の大きな湖は凍りつき、試験初日には初雪が降りました。しかし、例年に比べるとまだ厳しくはなかったそうです。



## 文化授業 総まとめ

文化授業は、中国語の授業がありました。また、相声、二胡、書画の文化授業もまとめに入りました。

相声と二胡はそれぞれ終業式での発表会が予定され、その練習に打ち込みました。宿舎に帰ってからも友達と一緒に自分たちで練習をし、発表会に臨みました。

書画は全員で「詩經」中の詩、「關雎」を簡体字で数字ずつ書いていき、一つの作品として仕上げました。





## 終業式

今年から、國學院大學特設クラスも南開大学漢語言文化学院側の終業式に参加することになりました。終業式では、成績優秀者と優秀班長賞と皆勤賞、中国語スピーチコンテスト優秀成績賞の表彰がありました。受賞者には賞状と金一封が渡されました。

終業式に引き続き、各クラスの発表会が行われました。國學院クラスからは、文化授業のクラスごとに、二胡と相声を発表しました。日ごろの練習の成果が十分に発揮された、素晴らしい発表になりました。

## 晩餐会

終業式の後、お世話になった先生方と一緒に晩餐会が開かれました。晩餐会には、天津でオーダーメイドしたチャイナドレスを着ていく学生もいました。卒業証書を漢語言文化学院長から受け取り、美味しいご飯に舌鼓を打つと共に、お世話になった先生方へ感謝の気持ちを伝えました。先生方も私たちのこの4か月間の成長ぶりを心から喜んでくださり、これからの私たちの飛躍を祈ってくださいました。



## 天津出発 北京、そして日本へ

帰国の為に天津を出、北京で一泊してから日本へと帰国しました。南開大学を出発するときには、現地で知り合った友達や先生方が多く見送りをしてくれました。バスが発進した瞬間、バスの中は「天津を離れたくない」「もっと南開大学にいたい」といった声が聞こえました。



バスに乗り、北京のホテルに昼ごろに到着すると、翌日の昼前まで各自自由行動となりました。長時間のバスでの疲れを癒す学生、荷物を置くとすぐに北京観光に出発する学生、それぞれが思い思いに出発前日を過ごしました。

12月23日、北京空港でチェックを受け、無事に日本へと帰り着きました。北京空港内で先生や家族へお土産を買った人もいました。日本についた途端、殆どの学生は携帯を開いて家族や友人に帰国報告をしていました。羽田空港で、4か月間支え合い、どんな苦境の中でも共に戦い、助け合ってきたメンバーとも解散です。解散後は各自の日本での生活がまた始まります。しかし私たちは、この4か月での出会いや別れ、経験、思い出を忘れることはないでしょう。出発前は「同級生」でしたが、今では歴戦の素晴らしい「仲間」達となりました。

(中国文学科2年 村上茜)

